

臨時總會議案

広島県内陸部振興対策協議会

総 会 日 程

日 時 昭和52年9月3日(土)午前10時30分

会 場 広島県議会第一委員会室

総会次第

1. 開 会
2. 会 長 挨 拶
3. 来 賓 祝 辞
4. 平岡県議会副議長就任挨拶
5. 事務局長就任挨拶
6. 会 務 報 告
7. 議 事
 - (1) 昭和52年度予算の補正について
 - (2) 昭和52年度県行政施策に関する要望事項について
各部会審議検討結果の報告及び要望事項の決定
 - (イ) 総務部会 別紙資料
 - (ロ) 産業部会 //
 - (ハ) 建設部会 //
 - (3) 要望の方法について
 - (4) そ の 他
8. 閉 会

会 務 報 告

昭 和 5 2 年 度

歳入歳出補正予算(案)

昭和52年度歳入歳出補正予算(案)

歳入の部

(単位:円)

款	項	目	当初予算額	補正額	計
1, 会費			1,257,500	275,000	1,532,500
	1. 会費		1,257,500	275,000	1,532,500
		1一般負担金	987,500	0	987,500
		2特別負担金	270,000	275,000	545,000
2, 補助金			270,000	0	270,000
	1. 補助金		270,000	0	270,000
		1県補助金	270,000	0	270,000
3, 雑収入			2,000	0	2,000
	1. 雑収入		2,000	0	2,000
		1雑収入	2,000	0	2,000
4, 繰越金			1,000	0	1,000
	1. 繰越金		1,000	0	1,000
		1繰越金	1,000	0	1,000
歳入合計			1,530,500	275,000	1,805,500

歳 出 の 部

(単位 : 円)

款	項	目	当初予算額	補正額	計
1,事務局費			774,000	70,000	844,000
	1事務局費		774,000	70,000	844,000
		1報酬	600,000	0	600,000
		2賃金	50,000	0	50,000
		3旅費	50,000	30,000	80,000
		4需用費	49,000	0	49,000
		5役務費	20,000	0	20,000
		6諸費	5,000	40,000	45,000
2,会議費			154,000	105,000	259,000
	1.総会費		106,000	105,000	211,000
		1需用費	100,000	100,000	200,000
		2借上料	5,000	0	5,000
		3諸費	1,000	5,000	6,000
	2役員会費		48,000	0	48,000
		1需用費	40,000	0	40,000
		2借上料	2,000	0	2,000
		3諸費	6,000	0	6,000
3,事業費			592,000	100,000	692,000
	1調査企画費		117,000	0	117,000
		1旅費	110,000	0	110,000
		2需用費	2,000	0	2,000
		3役務費	5,000	0	5,000
	2促進対策費		475,000	100,000	575,000
		1旅費	150,000	0	150,000
		2需用費	100,000	60,000	160,000
		3活動費	200,000	40,000	240,000
		4諸費	25,000	0	25,000
4,予備費			10,500	0	10,500
	1予備費		10,500	0	10,500
		1予備費	10,500	0	10,500
歳出合計			1,530,500	275,000	1,805,500

昭和52年度県行政施策に関する
要 望 事 項

各 部 会 で 採 択 し た 要 望 事 項

総務部会関係

1. 備北地域は、高等教育機関に恵まれていないので、地域的特色を生かした高等教育機関（女子教育部門を含む）を早期に設置して頂きたい。
2. 豪雪地指定町村に対する各種事業費補助指令及び起債認定等の財源措置を早めるよう措置して頂きたい。
3. コミュニティづくりのための施設整備及び指導者の育成を強化して頂きたい。
 - (1) 施設整備助成措置の強化
スポーツ施設、小規模集会施設等
 - (2) 指導者の育成等、これが指導体制の強化
4. 地方バス対策について、積極的な措置を講じて頂きたい。
 - (1) 経営改善5ヶ年計画に基づく経営合理化（ワンマン化）に、必要な道路整備を図って頂きたい。併せて市町村負担の軽減措置を講じて頂きたい。
 - (2) 地方バス路線維持費補助金等に係る、市町村負担の軽減措置を講じて頂きたい。
 - (3) 代行バス路線運営費県補助の増額をして頂きたい。
5. 備北新都市圏整備計画について、引き続き県における強力な推進を講じて頂きたい。
6. 国鉄在来線の電化、復線化を含めた抜本的改善について、県におかれても国鉄当局に対し積極的な働きかけをし、当面、次の対策を講じて頂きたい。
 - (1) 列車のスピードアップ及び増便（急行及び普通列車とも）をして頂きたい。
 - (2) 荷物駅廃止については、関係市町村と充分協議して頂きたい。
 - (3) 国鉄今福線を早期に建設して頂きたい。
7. 同和対策事業の推進についての円滑化を図るため、特に財政措置を講じて頂きたい。

- (1) 環境改善事業、農林業特別対策事業の補助限度額を大幅に引上げ、上限制限を撤廃して頂きたい。
- (2) 単県事業に係る起債償還について、元金部分を補助対策として頂きたい。
- (3) 援護資金の対象項目を大幅に拡大して頂きたい。
8. 僻地保育所運営の健全化を図るため、基準定数を緩和し、運営費の助成を大幅に引上げて頂きたい。
9. 国民健康保険事業及び保健婦設置事業について、県費助成の制度を創設して、市町村財政対策の措置を講じて頂きたい。
 - (1) 老人医療費公費負担事業（単県事業）実施に伴う、国保会計への波及分については、県費助成制度を確立して頂きたい。
 - (2) 市町村が設置する保健婦について、県費助成制度を確立して頂きたい。
10. 過疎地域における僻地医療の充実を図るため、医師確保等抜本的な対策を講じて頂きたい。
 - (1) 僻地直営診療施設への医師確保を講じて頂きたい。
 - (2) 県の機構改革に伴う保健所統廃合による保健活動が、低下しない措置を講じて頂きたい。
 - (3) 県費負担による保健婦の派遣措置を講じて頂きたい。
 - (4) 公立病院、診療所、公的医療機関の施設整備拡充費について、国、県補助金及び起債の枠を大幅に拡大して頂きたい。
11. 救急医療対策を充実強化して頂きたい。
 - (1) 医師及び技師の確保をして頂きたい。
 - (2) 施設整備及び管理運営費について、県費助成を大幅に引上げて頂きたい。
12. 中学校寄宿舎の舎監、寮母、給食調理員の給与費に対する県費助成の措置を講じて頂きたい。
13. 義務教育施設整備事業に対する補助基準単価を大幅に引上げて頂きたい。
14. 屋内運動場とコミュニティ施設の併設による、補助対象基準面積を拡大し県費助成措置を講じて頂きたい。
15. 文化財等の保存及び活用について、適節な措置を講じて頂きたい。

- (1) 史跡等の公有化及び保存管理をして頂きたい。
- (2) 埋蔵文化財の実態調査をして頂きたい。
- (3) 郷土史料館並びに自然史科学博物館（調査、研究部門を含む）を早期に建設して頂きたい。

産業部会関係

1. 農業生産基盤整備事業の積極的な推進を図るため、当面、次の措置を講じて頂きたい。
 - (1) ほ場整備事業の円滑な推進を図るため、関係事業予算を大幅に増額するとともに、事業採択基準（特に山間棚田）を緩和して頂きたい。
 - (2) 単独県費助成事業（小規模土地改良事業）で実施される農道整備、かんぱい施設整備事業等について、補助金の枠を大幅に拡大して頂きたい。
 - (3) 県営基幹農道舗装事業関係予算を大幅に増額して頂きたい。
 - (4) 県営農用地開発事業について、事業採択基準を緩和して頂きたい。
 - (5) 農業構造改善事業で施行するほ場整備事業の、県費補助率を5%引上げて頂きたい。
2. 広域営農団地農道整備事業の関係事業費を大幅に増額し、これが事業の早期促進を講じて頂きたい。
3. 米の政府買入基準数量の拡大と、長期展望に基づいた割当配分を検討され当面、次の措置を講じて頂きたい。
 - (1) 昭和52年度産米について、生産者の出荷希望全量を政府買入基準価格で売渡してできるよう、枠の拡大を講じて頂きたい。
4. 国土調査事業について積極的な促進を図るため、次の措置を講じて頂きたい。
 - (1) 補助基準単価を大幅に引上げて頂きたい。
 - (2) 人件費補助制度の確立と市町村超過負担の解消をして頂きたい。
5. 農作物に被害を与える鳥獣駆除対策を積極的に講じて頂きたい。
6. 林道施設整備事業の積極的な推進を講じて頂きたい。
 - (1) 単独県費助成事業で施行される林道開設事業について、補助金の枠を大

幅に拡大して頂きたい。

7. 造林事業補助金を大幅に引上げて頂きたい。
8. 林道舗装事業の補助対象範囲を緩和して頂きたい。
 - (1) 500m以内に10戸以上家屋のある区間を5戸以上として頂きたい。
 - (2) 急勾配路線については、補助採択を優先して頂きたい。
9. 大規模林道整備事業を積極的に促進して頂きたい。
 - (1) 関係事業費を大幅に増額して頂きたい。
 - (2) 政令未指定区間の早期指定を促進し、町村負担の軽減措置を講じて頂きたい。
10. 昭和52年度、県において創設された赤松林対策事業を更に整備拡充して頂きたい。

建設部会関係

1. 道路交通網の整備を積極的に促進して頂きたい。
 - (1) 国道及び主要地方道並びに一般県道の改修促進に努められたところであるが、なお、未改修部分も多く早期に改修して頂きたい。
 - (2) 市町村道整備事業については、単独県費補助金を大幅に引上げて頂きたい。
 - (3) 臨時都道府県道整備事業に係る市町村負担分について、起債を含めた財源措置を講じて頂きたい。
2. 国道昇格要望路線について、早期に国道昇格のための措置を講じて頂きたい。
3. 河川改修を積極的に促進して頂きたい。
 - (1) 県が管理する河川の積極的な改修をして頂きたい。
 - (2) 市町村が管理する河川について、これが改修事業に対する大幅な助成をして頂きたい。
4. ダム周辺環境整備を積極的に促進して頂きたい。
5. 環境衛生施設整備事業の条件整備に伴う、道路改良事業等の積極的な促進

をして頂きたい。

6. 中国縦貫自動車道安佐 I.C と広島市中心部を直結する。横断高速自動車道を早期に建設して頂きたい。
7. 中国縦貫自動車道に関する道路を供用開始までに整備して頂きたい。
8. 都市計画事業（街路事業及び都市下水路事業）を積極的に促進して頂きたい。
 - (1) 街路事業関係事業費を大幅に増額して頂きたい。
 - (2) 都市下水路事業関係事業費を大幅に増額して頂きたい。

参 考 資 料

広島県内陸部振興対策協議会会員名簿

県議会議員

庄原市	西田修一	世羅郡	枅行光男
三次市	原田豊	神石甲奴郡	熊原正史
山県郡	藤田一凱	双三郡	平岡博
賀茂郡	中島喜三	比婆郡	木山徳郎

市町村長・議長

三次市長	平川昌三	同議長	杉田実夫
庄原市長	中川繁尙	〃	高橋辰夫

山県郡

加計町長	源田松三	同議長	湯浅福三
筒賀村長	森武樹	〃	梅田文人
戸河内町長	丸山孝士	〃	
芸北町長	大東弥一	〃	宮本森三
大朝町長	脇本大六	〃	加計平男
千代田町長	井上一位	〃	津田秀記
豊平町長	今田清	〃	泉祥吉

高田郡

吉田町長	佐々木末雄	同議長	佐々木敏夫
八千代町長	浅枝忠臣	〃	青原十人
美土里町長	三雲義彦	〃	山尾早松
高宮町長	香川静樹	〃	梶原夫
甲田町長	井上日丸	〃	前田稔

賀茂郡

豊栄町長	重森寛行	同議長	松田幸一
福富町長	河野俊則	〃	久保正男
大和町長	加賀美正孝	〃	田原久夫
河内町長	浮原保雄	〃	沖原敏勝

世 羅 郡

甲山町長	古川卓己	同議長	稻住三男
世羅町長	坂口昇	"	小池喜六
世羅西町長	吉実一登	"	伊藤藤薰

神 石 郡

神石町長	伊藤治郎	同議長	豊田忠士
油木町長	村上篤朗	"	西尾博史
豊松村長	小坂英夫	"	井上昇
三和町長	小野良太郎	"	瀬尾作太郎

甲 奴 郡

上下町長	山岡淳郎	同議長	田辺文三
総領町長	田辺武史	"	山中茂
甲奴町長	近藤義夫	"	若木義和

双 三 郡

君田村長	小川一二三	同議長	森岡守人
布野村長	藤原一之	"	藤井正士
作木村長	中原久登	"	藤岡参市
吉舎町長	平岡務	"	前原篤来
三良坂町長	鷺尾利三	"	岡本俊夫
三和町長	富野井利明	"	山本静人

比 婆 郡

西城町長	中村三郎	同議長	渡辺定
東城町長	藤尾七郎	"	瀬尾悟
口和町長	深井博視	"	藤山力
高野町長	升原彪	"	藤元司郎
比和町長	橋本新一	"	保井則市

以上上 87名

構成 2市37町村

役 員 名 簿

役 職 名	役 員 名	部会名	部 会 員 名
会 長 副 会 長 幹 事 幹 事 監 事	西 田 修 一 三 次 市 長 世 羅 西 町 長 戸 河 内 町 議 長 中 島 喜 三 県 議 全 員 (6 人) 庄 原 市 長 三 次 市 議 長 庄 原 市 議 長 山 県 郡 芸 北 町 長 豊 平 町 議 長 千 代 田 町 長 高 田 郡 美 土 里 町 長 甲 田 町 長 高 官 町 議 長 賀 茂 郡 豊 栄 町 長 河 内 町 長 大 和 町 議 長 世 羅 郡 世 羅 町 長 甲 山 町 議 長 神 石 郡 三 和 町 長 油 木 町 議 長 豊 松 村 長 甲 奴 郡 甲 奴 町 長 総 領 町 議 長 上 下 町 議 長 双 三 郡 作 木 村 長 三 良 坂 町 議 長 布 野 村 長 比 婆 郡 高 野 町 長 口 和 町 議 長 東 城 町 長 高 田 郡 吉 田 町 議 長 賀 茂 郡 福 富 町 長 双 三 郡 三 和 町 長	総 務 部 会 11名	◎ 芸 北 町 長 甲 奴 町 長 ○ 世 羅 町 長 東 城 町 長 ○ 三 次 市 議 長 作 木 村 長 藤 田 県 議 油 木 町 議 長 原 田 県 議 高 官 町 議 長 河 内 町 長
		産 業 部 会 11名	◎ 庄 原 市 長 美 土 里 町 長 ○ 豊 松 村 長 豊 栄 町 長 ○ 布 野 村 長 高 野 町 長 木 山 (徳 県) 議 豊 平 町 議 長 枳 行 県 議 上 下 町 議 長 熊 原 県 議
		建 設 部 会 10名	◎ 千 代 田 町 長 三 和 町 長 (神 石) ○ 庄 原 市 議 長 大 和 町 議 長 ○ 甲 山 町 議 長 総 領 町 議 長 平 岡 県 議 三 良 坂 町 議 長 甲 田 町 長 口 和 町 議 長
		備 考	◎ 部 会 長 ○ 副 部 会 長